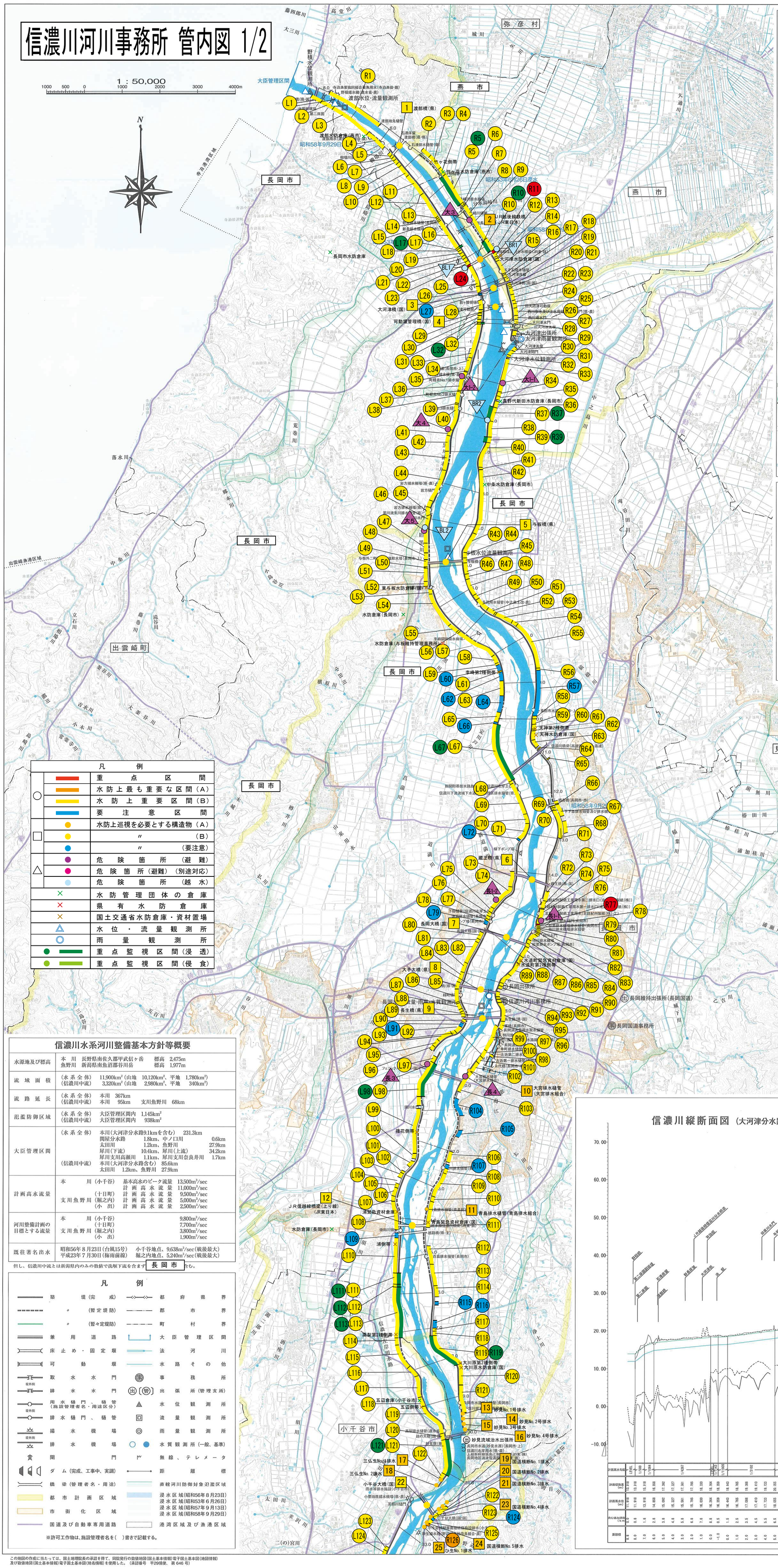
信濃川河川事務所 管内図 1/2

1：50,000



凡例

	重点区間
	水防上最も重要な区間（A）
	水防上重要区間（B）
	要注意区間
	水防上巡視を必要とする構造物（A）
	〃（B）
	〃（要注意）
	危険箇所（避難）
	危険箇所（避難）（別途対応）
	危険箇所（越水）
	水防管理団体の倉庫
	県有水防倉庫
	国土交通省水防倉庫・資材置場
	水位・流量観測所
	雨量観測所
	重点監視区間（浸透）
	重点監視区間（侵食）

信濃川水系河川整備基本方針等概要

水源地及び標高	本川 長野県南佐久郡甲武信ヶ岳 標高 2,475m 魚野川 新潟県南魚沼郡谷川岳 標高 1,977m
流域面積	（水系全体）11,900km² （山地 10,120km²、平地 1,780km²） （信濃川中流）3,320km² （山地 2,980km²、平地 340km²）
流路延長	（水系全体）本川 367km （信濃川中流）本川 95km 支川魚野川 68km
氾濫防御区域	（水系全体）大臣管理区間内 1,145km² （信濃川中流）大臣管理区間内 938km²
大臣管理区間	（水系全体）本川（大河津分水路9.1kmを含む） 231.3km 関屋分水路 1.8km、中ノ口川 0.6km 太田川 1.2km、魚野川 27.9km 犀川（下流） 10.4km、犀川（上流） 34.2km 犀川支川高瀬川 1.1km、犀川支川奈良井川 1.7km （信濃川中流）本川（大河津分水路含む） 85.6km 太田川 1.2km、魚野川 27.9km
計画高水流量	本川（小千谷） 基本高水のピーク流量 13,500m³/sec 計画高水流量 11,000m³/sec （十日町）計画高水流量 9,500m³/sec 支川魚野川（堀之内）計画高水流量 5,000m³/sec （小出）計画高水流量 2,500m³/sec
河川整備計画の目標とする流量	本川（小千谷） 9,800m³/sec （十日町） 7,700m³/sec 支川魚野川（堀之内） 3,800m³/sec （小出） 1,900m³/sec
既往著名出水	昭和56年8月23日（台風15号） 小千谷地点、9,638m³/sec（戦後最大） 平成23年7月30日（梅雨前線） 堀之内地点、5,240m³/sec（戦後最大）

但し、信濃川中流とは新潟県内のみの数値で洗堰下流を含まず 長岡市 含む。

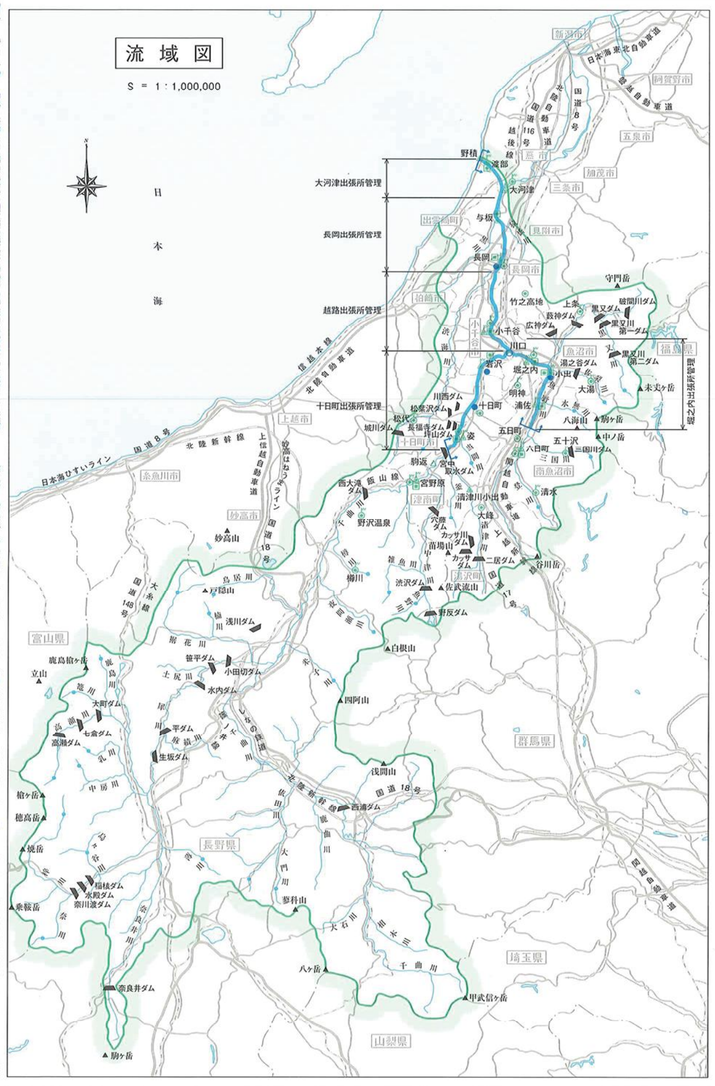
凡例

築堤（完成）	都府県界
〃（暫定堤防）	郡市界
〃（暫々定堤防）	町村界
兼用道路	大臣管理区間
床止め・固定堰	法河川
可動堰	水路その他
取水水門（堤外側）	事務所
排水水門（堤外側）	出張所（管理支所）
用水樋門、樋管（施設管理者名・用途区分）	水位観測所
排水樋門、樋管	流量観測所
揚水機場	雨量観測所
排水機場（堤外側）	水質観測所（一般、基準）
閘門	無線、テレメータ
ダム（完成、工事中、実調）	距離標
橋梁（管理者名・用途）	直轄河川防御対象氾濫区域
都市計画区域	浸水区域（昭和56年8月23日） 浸水区域（昭和53年6月26日） 浸水区域（昭和57年9月13日） 浸水区域（昭和58年9月29日）
市街化区域	
国道及び自動車専用道路	港湾区域及び漁港区域

※許可工作物は、施設管理者名を（ ）書きで記載する。

流域図

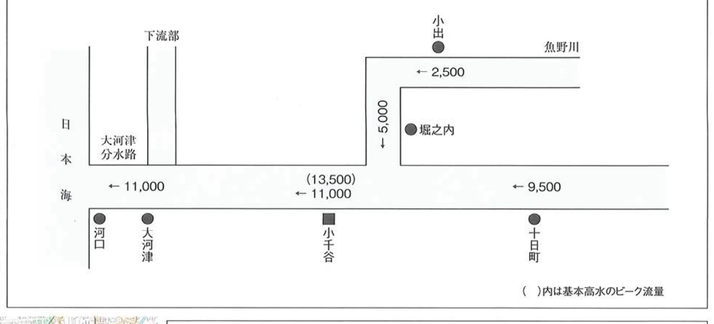
S ＝ 1：1,000,000



信濃川計画高水流量図

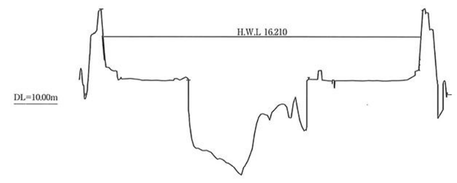
（単位m³/sec）

■ 基準地点
● 主要地点



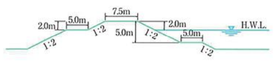
横断図（大河津分水路 0.0km）

V ＝ 1：400
H ＝ 1：10,000



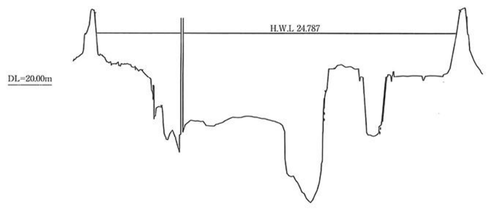
堤防標準横断面図（大河津分水路 7.8km～本川 －1.5km）

S ＝ 1：1,000



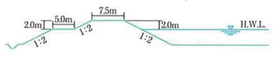
横断図（長岡 18.25km）

V ＝ 1：400
H ＝ 1：10,000



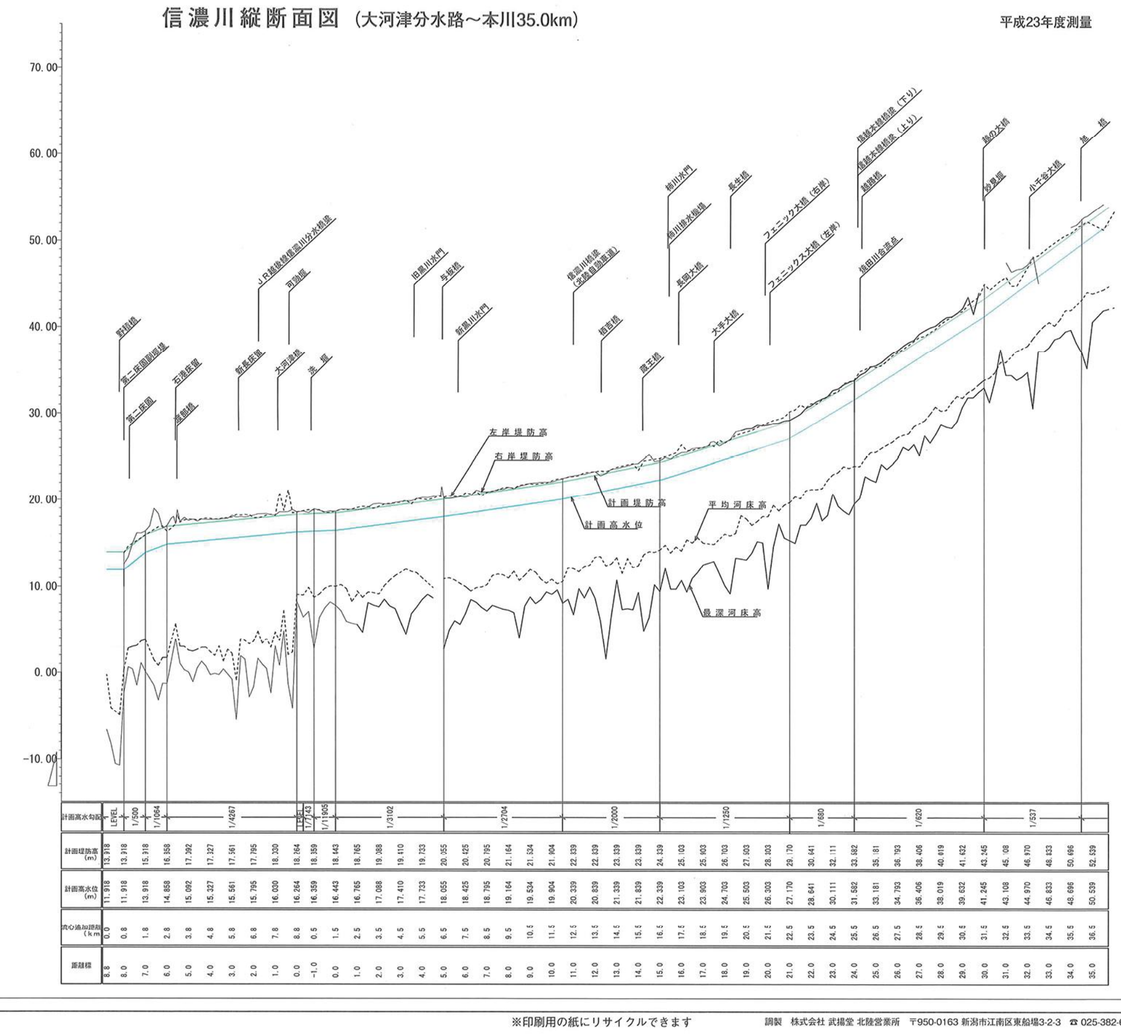
堤防標準横断面図［左岸 －1.5km～34.0km 右岸 0.7km～35.0km］

S ＝ 1：1,000



信濃川縦断面図（大河津分水路～本川35.0km）

平成23年度測量



平成二十九年十二月一日現在 国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。（承認番号 平29情使、第646号）

※印刷用の紙にリサイクルできます

調製 株式会社 武揚堂 北陸営業所 〒950-0163 新潟市江南区東船場3-2-3 ☎ 025-382-6331